


村山苑の[  いいね！ ]を探そう  
キャンペーン 2017

キャンペーン 概要

- 対 象 村山苑全職員
- 内 容 仕事をしていて体験したり感じたりした、いいなあ、素敵だなあと思ったこと、ナイス!と思ったこと、心温まるエピソード、皆に伝えたいこと、プラスの気づき等を投稿
- 応募期間 2017.11.1~2017.11.30
- 応募数  45人が「いいね！」しました
- 選 考 各事業所の選考委員による投票  
1票 10p + 1位得票 6p + 2位得票 5p + 3位得票 4p  
+ 4位 3p + 5位 2p + 6位 1p
- 表 彰 2018.1.12
- 主 催 社会福祉法人 村山苑

〒189-0024 東京都東村山市富士見町 2-7-5  
Tel:042-393-8496 Fax:042-397-4629  
<http://www.murayamaen.or.jp>

# 入賞作



Entry No.3 <32p 獲得>

「あたりまえて!？」

さつき荘 大久保 由美子

母の介護が始まり、同時に通勤が始まった。そして今まで見えなかった世界が見えてきた。ある日バスの運転手が車椅子のサラリーマンを降ろした。車窓から見たのは、車輪が排水溝に脱輪し、一生懸命上がろうとする姿だった。それに気付かず、バスは発車してしまった。朝の混雑した改札口へと続く階段。

視覚障害者の人が下りて来た。そこは下り階段にもかかわらずスマートフォンの中だけを覗き込む人々がその人にぶつかって行く。そこまでして今、見なければならぬ大切なものが、そこにあるのだろうか。

施設の中で働いているとふっと心温まることがある。薄暗い場所で物を探していると、突然灯りが付いた。利用者がスイッチを押して灯りを付けてくれた。重い荷物をカゴに入れて押しながら2階へ上がろうとしていた時、エレベーターのボタンを押して待っていてくれた。

時には間違えて、緊急ボタンを押して待っていてくれた事もあった。

大きな気づきや優しさも大切だけれど、あたりまえの小さな気づきや優しさの方がなぜか心にしみてくる。温かくなる。そして私はやっぱり人が好きなんだと改めて感じている。好きな言葉がある。「花は散るものだからなお美しい。時は過ぎゆくものだから今がいとおいしい」そのいとおいしい時間を人と人との関わりを持てる村山苑の中にある1つの施設の中で働ける事に、今私は本当に感射している。



いいね賞

Entry No.19 <27p 獲得>

## 「保育園児へのプレゼントを作ること」

ほんちょうケアセンター 伊藤 佳代

ほんちょうケアセンターのデイサービスは、ほんちょう保育園と合築のため、子どもたちの明るい姿や温かい笑顔に多くふれることができます。

どちらかと言うと、もらうことの方が多いと思います、保育士さん方にも大変感謝をしています。

そんな中、イベントに向けて保育園の園児さんにプレゼントを作ることを利用者様に伝え、一緒に作っていただいていると、「この位だったら私にもできる。」「手伝えるわ。」とたくさんの利用者様にご協力いただき、プレゼン作りも順調に進んでいます。いつも遊びに来てくれる子どもたち、地域にいる子どもたちに喜んでもらえる作品ができつつあり、皆様もお渡しに行くのを楽しみにして下さっています。園児 100 人分というのも、職員だけではなかなかの数ですが、利用者様がたくさん関わって下さり、できることを喜んでやって下さることは本当に素晴らしいことと感じています。



いいね賞

Entry No.40 <27p 獲得>

## 「優しい気持ち」 ほんちょう保育園 東海林 明美

1才児クラスの子どもたちと日々すごしていて、友だちの名前を覚えたり、一緒に遊ぶことが楽しくなってきた頃、散歩中転んだ友だちにすぐ「大丈夫？」と優しく声をかけたり、泣いている友だちに「どうしたの？」と優しく声をかけ心配したり、大人がぶつけて「痛い」と言っているのを聞いて、「いたいのいたいのとんでいけ～」と優しくさすってくれたりしています。また、午睡中早く目覚めた子が「ティッシュちょうだい」と言うので渡すとまだ寝ている友だちに鼻水が出ていることに気づいて、そっとふいてあげていました。子ども達の言葉や行動を見て、優しい気持ちが芽生えてきていることに感動し嬉しく思いました。これからもお互いに思いやりをもって、優しさにあふれた日々を送りたいと思います。気づかせてくれた子どもたちに感謝します。

## ちょっといいね賞

Entry No.6 <25p 獲得>

「心のつながり」 さつき荘 富田 美幸

笑顔がたくさん嬉しいな。

グラウンドでラジオ体操。畑作業をしていた園児が音楽に合わせ、一緒に体操。その姿を微笑みながら見ている皆さんの表情が優しく暖かくて素敵だな。

朝の散歩。社宅の管理人さんも、学校の用務員さんも笑顔で交わす「おはようございます。」「久しぶりだね。」地域の方々に見守られているって幸せだな。

「おーい。」遠くから手を振られ、振り返して。昔ながらの気心知れた仲間と近くで励まし合えるって素敵だな。

そんな利用者の皆さんの笑顔が私の活力になる。そんな利用者の皆さんの元気が私の励みになる。さつき荘の皆さんに囲まれ過ごす毎日が、嬉しくて、楽しくて、とても幸せ。こんな温かい気持ちで仕事ができる事に心から感射しています。

## 特別審査員賞

Entry No.21

「さすが！保育士さん」 ほんちよう保育園 久保 誠子

ある日の午後、「鼻血です！」と2歳児クラスから呼ばれました。鼻血に驚きさらに抑えられるのが嫌で真っ赤な顔で暴れるBくんと、押さえきれずに鼻からかなりの勢いでしたたり落ちる血液。直ちに鼻の圧迫止血を変わり、暴れるBくんの鼻を抑える私、両手・両足を抑える人と大人たちは役割分担。Bくんの苦痛のことまで考えることができず、圧迫止血のことばかりに意識をとられていた私は、次の瞬間「あ！さすが保育士さん」と思いました。

押さえられ、必死に嫌がるBくんにたいして

「絵本読んであげるね。何の絵本にしようかな？」

と優しく声をかけ、Bくんの好きな絵本をもってきて優しい落ち着いた声で読み始めました。するとあんなに抑えられることに抵抗していたBくんでしたが、体を動かすのを止めて、静かに絵本を観始めました。そのおかげでしっかりと止血をすることができました。その時の保育士さんのとった行動に「いいね！」でした。





The Campaign hosted by **MURAYAMAEN**